

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 エスペック株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 進 信義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 廣 信義

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6358-4741

平成21年12月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,433	△48.7	△1,289	—	△1,229	—	△1,365	—
21年3月期第2四半期	18,402	—	564	—	743	—	371	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△57.53	—
21年3月期第2四半期	15.64	15.64

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	35,364	28,054	78.9	1,175.22
21年3月期	38,719	29,212	75.0	1,224.12

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 27,889百万円 21年3月期 29,050百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	5.00	14.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△31.3	△1,100	—	△950	—	△1,500	—	△63.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	23,781,394株	21年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	50,036株	21年3月期	49,746株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	23,731,410株	21年3月期第2四半期	23,722,266株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、平成21年5月15日に発表いたしました連結業績予想および配当予想につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、一部の製造業においては生産稼働率が回復し増産体制へと移行するなど景気回復基調を現し始めているものの、設備投資につきましては、当社の主要顧客である自動車・エレクトロニクスメーカーをはじめ、各企業とも投資案件を厳しく選別する状況となりました。

こうした状況を受け、受注高・売上高につきましては、前年同四半期連結累計期間比で大幅に減少いたしました。利益面につきましては、経営合理化施策を実施し、計画を上回る固定費を削減いたしました。売上高減少の影響を吸収するには至らず、遺憾ながら営業損失および四半期純損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	20,555	10,480	△49.0
売上高	18,402	9,433	△48.7
営業利益又は営業損失 (△)	564	△1,289	—
経常利益又は経常損失 (△)	743	△1,229	—
四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	371	△1,365	—

#### <環境試験事業>

国内市場におきましては、主力製品の省エネモデル投入により買い換え需要を喚起するとともに、既納品の省エネ改作提案を推進してまいりました。また、新エネルギーなどの好調市場に焦点をあて、カスタム仕様製品の受注獲得に注力いたしました。海外市場におきましては、国際規格にも対応した新製品「ハイパワー恒温恒湿器ARシリーズ」を販売開始するとともに、アジア・欧州などを中心に積極的な販売活動を展開してまいりました。

しかしながら、特に国内の自動車・エレクトロニクスメーカーを中心とした設備投資の抑制により、受注高・売上高につきましては、前年同四半期連結累計期間比で大幅に減少いたしました。利益面につきましては、売上高減少などの影響により営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	14,651	8,733	△40.4
売上高	13,937	8,186	△41.3
営業利益又は営業損失 (△)	655	△856	—

#### <電子デバイス装置事業>

FPD装置事業におきましては、中国でのLCD需要の拡大に伴い設備投資は回復基調にあるものの、今期より採算性を重視した選別受注を徹底したため、前年同四半期連結累計期間比で受注高は大幅な減少となりました。また、売上高につきましては、前期受注済み案件の納入が延期された影響などにより大幅に減少し、利益面につきましても営業損失となりました。

半導体装置事業におきましては、半導体メーカーでは生産回復の兆しを見せておりますが、設備投資の見送りは依然として継続しており、受注高・売上高につきましては前年同四半期連結累計期間比で大幅に減少し、営業損失となりました。

こうした結果、電子デバイス装置事業全体では、受注高・売上高につきましては、前年同四半期連結累計期間比で大幅に減少いたしました。利益面につきましては、売上高減少の影響により営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	5,553	1,565	△71.8
売上高	4,171	917	△78.0
営業損失 (△)	△58	△420	—

#### <その他事業>

その他事業では、子会社のエスペックミック株式会社が森づくりや水辺づくり、都市緑化などの環境エンジニアリングに取り組んでおります。植物生産システムの売上が増加したことなどにより前年同四半期連結累計期間比で増収となりましたが、利益面につきましては前年同四半期連結累計期間と同水準にとどまりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	386	319	△17.3
売上高	328	385	17.3
営業損失 (△)	△30	△13	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2および第4四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

#### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は35,364百万円で、前連結会計年度末と比べ3,355百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加732百万円、受取手形及び売掛金の減少3,899百万円などによるものであります。また、負債は7,309百万円で前連結会計年度末と比べ2,197百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,672百万円、その他流動負債の減少220百万円などによるものであります。純資産は28,054百万円で前連結会計年度末と比べ1,158百万円の減少となり、その主な要因は利益剰余金の減少1,483百万円、その他有価証券評価差額金の増加172百万円、為替換算調整勘定の増加152百万円などによるものであります。

#### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては、本日（平成21年11月11日）発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①簡便な会計処理

該当事項はありません。

###### ②四半期連結財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,571	5,838
受取手形及び売掛金	8,703	12,603
有価証券	1,900	1,500
商品及び製品	235	279
仕掛品	2,089	1,915
原材料及び貯蔵品	1,044	1,090
その他	1,636	2,195
貸倒引当金	△21	△28
流動資産合計	22,160	25,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,731	3,774
土地	4,435	4,429
その他（純額）	777	798
有形固定資産合計	8,944	9,003
無形固定資産	545	681
投資その他の資産	3,713	3,639
固定資産合計	13,204	13,324
資産合計	35,364	38,719
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,808	4,480
短期借入金	389	550
未払法人税等	72	76
賞与引当金	251	262
役員賞与引当金	2	3
製品保証引当金	120	194
その他	1,757	1,977
流動負債合計	5,401	7,545
固定負債		
長期借入金	214	207
退職給付引当金	75	80
役員退職慰労引当金	46	59
負ののれん	42	58
その他	1,528	1,556
固定負債合計	1,907	1,961
負債合計	7,309	9,506

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	7,172
利益剰余金	15,211	16,694
自己株式	△53	△53
株主資本合計	29,226	30,710
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	156	△15
繰延ヘッジ損益	△1	—
土地再評価差額金	△824	△824
為替換算調整勘定	△668	△820
評価・換算差額等合計	△1,336	△1,660
少数株主持分	165	162
純資産合計	28,054	29,212
負債純資産合計	35,364	38,719

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	18,402	9,433
売上原価	12,646	7,103
売上総利益	5,755	2,330
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,252	1,060
賞与引当金繰入額	163	79
製品保証引当金繰入額	92	40
役員賞与引当金繰入額	13	2
その他	3,670	2,436
販売費及び一般管理費合計	5,191	3,619
営業利益又は営業損失(△)	564	△1,289
営業外収益		
受取利息	25	21
受取配当金	38	36
有価証券売却益	—	0
負ののれん償却額	16	16
持分法による投資利益	62	19
その他	71	43
営業外収益合計	214	137
営業外費用		
支払利息	16	13
有価証券売却損	5	15
為替差損	—	36
その他	13	11
営業外費用合計	35	77
経常利益又は経常損失(△)	743	△1,229
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	37	3
投資有価証券評価損	81	98
貸倒引当金繰入額	—	1
特別損失合計	119	103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	625	△1,327
法人税、住民税及び事業税	242	44
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	371	△1,365

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	環境試験事業 (百万円)	電子デバイス 装置事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,910	4,170	321	18,402	—	18,402
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	27	1	6	35	(35)	—
計	13,937	4,171	328	18,437	(35)	18,402
営業利益又は 営業損失(△)	655	△58	△30	566	△2	564

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	環境試験事業 (百万円)	電子デバイス 装置事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,169	884	379	9,433	—	9,433
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	16	32	6	55	(55)	—
計	8,186	917	385	9,488	(55)	9,433
営業損失(△)	△856	△420	△13	△1,290	0	△1,289

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。